

奈良県指定文化財調査票

調査日	2021 年	3 月	19 日	記入者	西田裕美
調査者名	春日	仲谷	西田	安川	

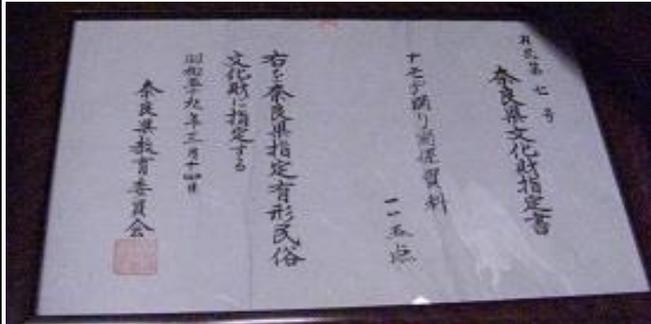
文化財名	ナモデ踊り関係資料				
種類	<input type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input type="checkbox"/> 天然記念物	<input checked="" type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ( )
指定年月日	1984年(昭和59)3月14日				
所在地	生駒郡安堵町東安堵1379				
所有者 管理者	飽波神社				
員数	115点				
時代区分	江戸時代				
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)	
案内板の状況	「奈良県指定有形民俗文化財ナモデ踊り関係資料一一五点」の文字が極めて薄い。				
公開	飽波神社氏子総代の方に連絡して神社に蔵の鍵を開けていただく必要がある。				
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input checked="" type="checkbox"/> 普通	<input type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い
	補足 ( )				
当面の課題	県の指定を受けたナモデ踊り関係資料は115点であるが、県で公開されているデータには25点とあった。訂正が必要。踊りに使う用具は、比較的新しいしっかりした木の箱三つに分けて入れておられた。蓋をあけると防虫剤の香りがした。その中に一つずつ和紙にくるんで丁寧に収納してあるので、こちらは大丈夫と思われる。数が多いので確認作業が大変かもしれない。				
今後の課題	収納のための木の箱は、神社の蔵の中にある。蔵の周囲には木々があるため、蔵の内部や箱の上にも自然のゴミが目立ったが、ゴミは箱の中には入り込んでいなかった。外のゴミが蔵の中に入るぐらい風通しが良いということで保存が保たれているのか、そのあたりの良し悪しはわからない。				
その他 (由緒など)	稲穂が成長する時期に雨が降らない年は、東安堵と西安堵の村が協力して「いさめ踊り」を神社に奉納した。そして満願した時に踊ったのが「ナモデ踊り」。明治に途絶えたが、踊りの様子を描いた絵馬や踊りの衣装、頭に被るもの、うちわ、手に持って両側をたたく太鼓や歌本など江戸時代の物が神社に残っていて文化財指定となった。				
コメント	安堵町立民俗資料館の方に、飽波神社の氏子総代の方の連絡先やナモデ踊りについて教えていただくことができた。平成7年に保存会を立ち上げて踊りを復活し、その際、残っていた歌詩にメロディーと踊りを新たにつけてもらったとのこと。飽波神社に残る衣装や道具を元にそれらを再現し、民俗資料館で保管。素晴らしい取り組みだと感じた。				

奈良県指定文化財調査票(写真)

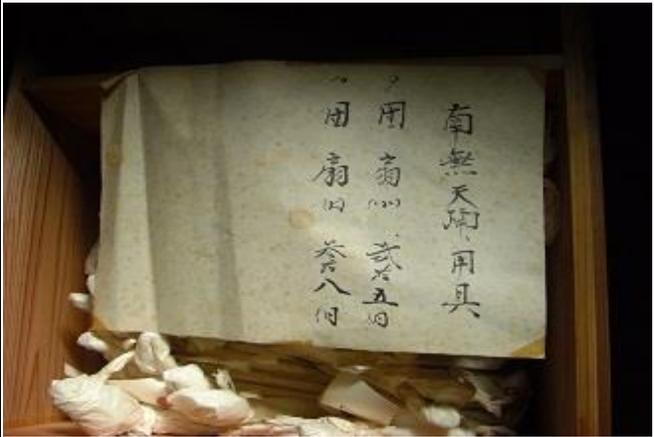
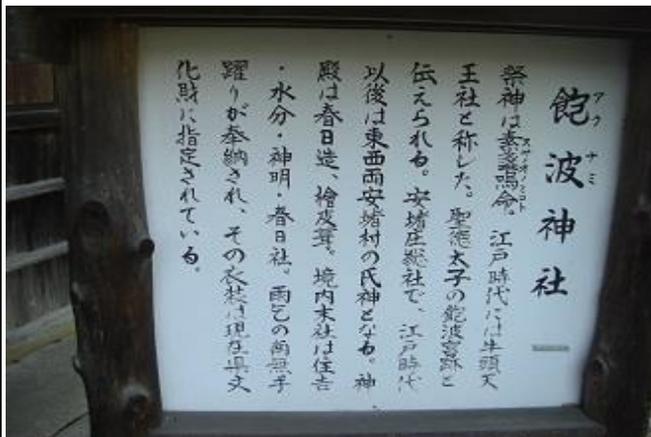
調査日	2021 年	3 月	19 日	記入者	西田裕美	
調査者名	春日	仲谷	西田	安川		

文化財名	ナモデ踊り関係資料
------	-----------

拝殿内部にあった文化財指定書「115点」の記載	拝殿前に立てられた文化財指定の案内板
-------------------------	--------------------



拝殿前の神社の案内板	ナモデ踊り関係資料保管状況
------------	---------------



ナモデ踊り関係資料の一つ宝暦6年(1754)の「絵馬」	指定の絵馬を元にしたと思われる昭和の絵
-----------------------------	---------------------

